第１回綾部市振興計画審議会　議事概要

日　　時：令和７年８月26日（火）１３時３０分～１５時３０分
場　　所：綾部市ものづくり交流館多目的ホール
出席委員：伊豆紀代美委員、一瀬健太委員、岩崎裕生委員、梅原和久委員、梅原静代委員、
梅原寿夫委員、大石浩明委員、大槻匠委員、大槻直樹委員、大槻美由紀委員、
加藤章広委員、神田一之委員、木枝一子委員、小寺建樹委員、小寺哲朗委員、
佐々木清次委員、佐々木幸雄委員、白波瀬清孝委員、白波瀬聡美委員、
杉森豊和委員、髙倉正明委員、谷口知弘委員、辻井邦夫委員、土田大介委員、
寺崎友芳委員、波多野隆史委員、林多嘉子委員、帆風佳奈委員、牧野年子委員、
増山佳苗委員、山﨑清吾委員、吉田博美委員、吉田豊委員、渡邊友子委員
欠席委員：岡安庄治委員
綾 部 市：山崎市長、岩本副市長、小林教育長、大槻市長公室長、志賀企画総務部長、
立藤市民環境部長、松原福祉部長、四方健康こども部長、大島農林商工部長、
朝子定住交流部長、野々垣建設部長、塩見消防長、小林上下水道部長、
三本木議会事務局長、村上教育部長、四方財務担当部長
事 務 局：企画政策課　鎌部課長、上田担当長、新川主任、白波瀬主事
記　　者：１人
傍　　聴：１人

配布資料：【資料１】綾部市振興計画審議会委員名簿
【資料２】綾部市振興計画審議会に関する条例・規則（抜粋）
【資料３】綾部市振興計画審議会運営要領（案）
【資料４】第６次綾部市総合計画後期基本計画概要版
【資料５】第６次綾部市総合計画後期基本計画＜本編＞（案）
【資料６】第６次綾部市総合計画後期基本計画＜資料編＞（案）

１　開会

２　市長あいさつ

３　綾部市振興計画審議会の設置について
・資料１～資料２に関して事務局から説明。

４　役員選出
（１）会長選出
・知識経験を有する者（前副市長）山﨑清吾様を会長に指名し、拍手で承認。

（２）会長職務代理選出

・山﨑会長により、綾部市自治会連合会会長髙倉正明様を指名。

5　諮問「第６次綾部市総合計画後期基本計画の策定について」

・山崎市長より、山﨑会長に諮問文を手渡し。

6　綾部市振興計画審議会の運営について

・資料３に関して事務局から説明。委員一同の拍手により承認。

7　第６次綾部市総合計画後期基本計画（案）について

・資料４～資料６に関して事務局から説明。各委員からの意見は以下のとおり。

会　長：資料４の推計人口について、後期基本計画の計画期間中における人口が３万人を切っている。直接関連のある数字が計画本文に書かれていないのは不十分ではないか。人口が計画の根幹にかかわる以上、人口フレームに関連する数値を直接示す必要があるように思う。

事務局：ご指摘を踏まえ、掲載方法について検討したい。

委　員：前期基本計画の主な成果について伺いたい。コロナ禍と重なっていることもあるが、記載されている評価は妥当であったのか。

事務局：全体の評価では 80%以上達成したものが一定数あり、進捗は図られている。一方で、50%未満で進捗が十分でなかった指標も 14 項目あった。こうした事業実績を検証しつつ、今後さらに取組を進めていく必要がある。コロナ禍の影響も受けているので、今後５年間の指標を正しく設定し、推進していく必要があると考えている。

委　員：コロナ禍の影響を受けた部分もあるので、今後５年間の指標を正しく設定し、確実に推進していくことが重要である。

会　長：前期計画の主な成果について、コロナ禍での活動であったことを明記してよいのではないか。また、ワクチン接種はまちを挙げて実施したことが印象深いが、「医」の分野の成果に全く触れられていない。

担当部長：資料編に個別の成果をまとめており、接種に関する記載がある。

会　長：ワクチン接種は市民全体で取り組んだ大きな事業であり、本編に記載するのが適切ではないか。

副市長：ご意見を踏まえ、本編への記述について検討したい。

委　員：産業分野について伺いたい。第６次の前期策定時には想定していなかった経済環境となっている。職場環境も、熱中症対策等、厳しさが増している。前期のエビ

デンスは大切だが、今後の変化をどう捉えているか。

副市長：第６次総合計画は 10 年間の計画であり、その中で後期基本計画は中間年に当たる。近年は DX、GX 及び新たな感染症等、大きな変化が起きている。こうした新たな潮流を踏まえるためにも中間見直しを行っている経緯もあり、後期基本計画に反映していきたいと考える。

委　員：想定できるものとできないものがあると思うが、予測可能な課題は可能な限り盛り込んでいただきたい。

副市長：本審議会で行っていることは、PDCA の「C」に当たる。次期計画では新たな課題やトピックスを取り上げ、市民に分かりやすく示す必要がある。それぞれの専門的見地からの意見を今後寄せていただきたい。会議資料が当日配布だということもあるので、本日は持ち帰っていただき、次回以降でご意見をいただければと思う。

委　員：既に 100％を達成している指標については、後期で上方修正されるのか。

事務局：達成率が 100％を上回っているものは上方修正を行う。逆に、極めて低い達成率の指標は下方修正を行っている。

委　員：前期基本計画はコロナ禍での事業運営となった。後期基本計画の指標設定につながる成果となっているのかが重要であると考える。

委　員：資料４のまちづくりの新たな発想、スマートシュリンクの考え方については賛成であり非常に重要な切り口だと思う。新しい方向性を市民に分かりやすく説明し、市民協働で推進していただきたい。

会　長：この取組方針においては、「賢く縮む」という施策につながっているのかを考えていかねばならないと思う。複式学級や通学圏域を超えた取組、病床削減等、従来どおりの行政の在り方では対応できない。市民に寄り添い、限られた資源を有効に使う姿勢を示すことが重要である。次回までに、本日配布した資料をご確認いただきたい。

８　その他

・次回の会議、パブリックコメントの日程について、事務局より説明。

以上